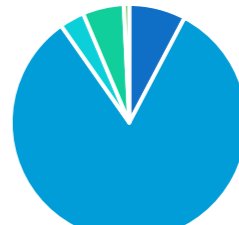


株式会社動力		業種	建設業
		事業所所在地	愛知県安城市
被承継者		承継者	
株式会社アスカクリエイト		株式会社動力 代表取締役 鈴木 竜宏	
事業承継時年齢	63歳	事業承継時年齢	48歳
業種	卸売・小売業	業種	建設業
事業所所在地	広島県広島市	事業所所在地	愛知県安城市
売上高	～50,000万円	売上高	100,000万円以上
資本金	10,000千円	資本金	20,000千円
従業員数	2名	従業員数	60名
事業承継前の主たる事業内容		事業承継前の主たる事業内容	
太陽光発電用架台の開発・販売。		太陽光発電・蓄電池などスマートエネルギー関連設備の販売・施工。 太陽光発電用架台の開発・販売。	
被承継者と承継者の関係		事業での取引があった	
事業承継の経緯			
事業承継の検討を開始した時期：2020年3月			
被承継者		承継者	
後継者不在、代表者の健康問題。		被承継者は健康不安があり通院中であつたため、早急に事業譲渡を希望。速やかに新開発を進め被承継者の既存客への提案が必要であつた。また承継当時の被承継者の品質基準での架台仕様では防錆、耐風強度が承継者品質基準をクリアしておらず被承継者の在庫品の中で使用できないものがあつた。	
①廃業。 ②同業大手の承継者に架台事業を譲渡することが、一番既存顧客にも迷惑が掛からない選択だと思つた。		承継前の事業課題 事業課題解決のために、 ①他に検討した手法は？ ②なぜ事業承継を選択したか？	
被承継者に健康問題があり2020年6月ごろには廃業を決定していたが、既存顧客のフォローも含め同業大手の承継者が事業を引き継いでくれると安心であると思つた。		①被承継者が持っている架台と同種の架台を開発する。 ②開発のコスト・スピードを考えると事業承継を受けた方が得策。	
相手先との交渉開始のきっかけ		被承継者からの事業譲渡の希望。	
特になし	課題と克服 ①財務	特になし	
特になし	課題と克服 ②取引先との調整	特になし	
特になし	課題と克服 ③社内調整	特になし	
特になし	課題と克服 ④諸手続き	特になし	
事業承継を行った時期：2020年6月			
事業承継の形態		事業承継 成立の決め手になつたのは？	
事業譲渡	被承継者	承継者	
	・従来から事業での取引があつた。 ・承継者の人柄。	・従来から事業での取引があつた。 ・被承継者の人柄。	

経営革新等に係る取組の標題

太陽光パネルが設置困難な陸屋根への設置工法を開発

経営革新等に係る取組の内容	新役務の開発又は提供
<p>●従来RC・ALC陸屋根に機械的に太陽電池設置金具を固定した場合、屋根に勾配が無いため、漏水の危険が大きく、太陽光発電パネルの設置困難とされていたが、承継者は、その陸屋根に対して穴を開けずに太陽光発電を設置する架台の開発を行っていた。一方、被承継者は太陽光発電用架台の開発・販売を行っていたが、自身の健康不安と後継者不在という状況に加えて、コロナ禍の影響もあり事業の廃業を考えていた。そのため、被承継者は、同業の太陽光架台開発をしている承継者に事業譲渡による事業承継を打診した。</p> <p>●これまでの被承継者の工法は、材料仕様で、短期的に錆の発生による強度低下と意匠性の低下及び耐風圧基準の弱さによる太陽光パネルの脱落、飛散などの懸念があるため、承継者は事業承継を機に本補助金を活用して、長期間自然環境に耐えうる工法の開発し、認知拡大のための商品PRを行った。</p> <p>●これにより、大手太陽電池メーカーに採用されている独自技術（特許6330203号、6366171号、6498427号など）や、独自の太陽光発電架台開発分野のノウハウやアイデアを活用し、従来の陸屋根に穴をあけて金具を固定する工法から置き基礎の重量により太陽光パネルが受ける風圧に耐える架台を提供することで、太陽光パネルの設置対象を増やすことにより太陽光発電の普及に貢献する。</p>	
  	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
コロナ禍の影響の中、新規開発事業に係る人員を地域から雇用できた。	<ul style="list-style-type: none"> 設備費 人件費 旅費 外注費 廃業費 
	経費の主な使い道
	設備費：顕微鏡、ノグスユニット導入費 人件費：商品PRに係る人件費 旅費：打合せ交通費等 外注費：パンフレット、ホームページ制作費 廃業費：在庫処分費

認定経営革新等支援機関の名称：碧海信用金庫 安城本店			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
本事業承継補助金の説明。補助金申請書類の作成指導。			

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	今年度は、コロナ禍の影響により当初計画していた展示会への出展、施工研修会、商品説明会等の開催が全くなかった中、売上計画値90%で着地する予想である。来期以降もコロナ禍の中で活動していくこととなるが、対面でのPRではなくオンラインでの提案などを駆使して、2年目計画の達成を目指したい。
売上高	263 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
療養中のためコメントなし。	事業を承継した後の新たな取組に係る費用を国が支援してくれるのは、とても心強い事です。申請書類・報告書作成も当たり前の事を堂々と記入するだけのことですから難しいことはありません。これから事業承継に取り組む事業者様は、活用すべきと思います。